

優秀賞【5題】

◇簡易濁水処理試験施工について

板屋護岸災害復旧工事 大高建設(株) 監理技術者 川添将文

【講評】河川工事施工時に土砂掘削等で発生する濁水について、低コストの濁水処理プラントの動作について実際の工事で適用への可否を検討した。また、濁水処理後に発生する沈殿物のリサイクル化についても試験を行うなど環境や施工性を高めた報告であった。

◇寒中コンクリートにおける養生について

青野環境護岸工事 共和土木(株) 監理技術者 能島達規

【講評】冬期間にコンクリートを使用する工事では、品質管理のうえで養生が重要となるが、寒中コンクリート養生において新技術の保温養生マットを採用し、厳冬期においても高品質のコンクリート構造物施工に努力するなど施工性を高めた報告であった。

◇コンクリート打設等に関する取り組みについて

祖母谷下流第2号堰堤他工事 大高建設(株) 現場代理人 清水栄一郎

【講評】コンクリートの運搬から打設にいたるまでの区間で、狭隘な資材運搬路・V字谷での施工といった様々な危険要因に対して事故防止対策を施した。また、施工期間が限られている中で、コンクリート打設方法や輸送方法を工夫するなど安全性や施工性を高めた報告であった。

◇キャンプ場周辺の安全対策について

園家緩傾斜堤工事 小川建設工業(株) 現場代理人 川端勇一

【講評】施工箇所付近には利用者の多いキャンプ場があり、工事用車両の通行にあっては海浜利用者用の仮設高架橋の設置とともに誘導員も配置し安全を図った。また、狭隘箇所でのブロック製作では型枠の工夫により製作面積を縮小するなど安全性や施工性を高めた報告であった。

◇地域とのコミュニケーションについて

八幡副離岸堤工事 (株)不動テトラ 現場代理人 安藤和久

【講評】海岸の中でも副離岸堤等の沖合工事は、地域住民にとって間近での施工ではないことから、進捗状況や施工内容が分かりにくい工事であるが、ミニ広報誌（工事だより）で写真等を使用し分かりやすい内容で期間中に4回発行した。また、工事説明掲示板でも進捗状況やイメージアップの取り組みを紹介するなど、地域とのコミュニケーションを高めた報告であった。